

ひまわり通信

SSKS
No.95



令和二年度 展望

代表理事 隅 一 清

令和元年は相次ぐ台風の被害で、各地に大きな爪跡を残しました。仮設住宅で年越しをされた方も多く、不便な生活を強いられると思います。

令和二年の新年は、大きな事件もなく比較的穏やかな年明けになりました。暖冬とかで各地のスキー場は、まったく雪がなく悲鳴を上げているとの事ですが、東京でも真冬なのに梅雨時の様な天気が続いたりしています。今年は今も、二十五周年を迎える事になり今から準備を進めています。平成七年五月に野沢の水間さんの家で産声をあげてから、福祉有償移送事業を柱として、障害のある人や高齢者の社会参加を促して、各種の教室を開いたり、歴史散策から日帰りバスハイク、研修旅行、食事会や納涼屋形船などの行事も行ってきました。専属ドライバー一人、福祉車両一台から始まった移送サービスも、今ではドライバー十九名、福祉車両五台、普通車両三台、持込車両五台の計十三台で透析病院

や施設通所、買物、お墓参りなど、移送困難な方たちの足となっております。

現在会員登録者数は三百名を越え、毎月の実利用者も百名近くになっていきます。一キロ百七拾円という解りやすい価格で頑張っていますが、これも一重にボランティア精神のドライバーがいてこそ出来ることです。ちなみに一ヶ月に二十万円働くには、ほとんど毎日朝から晩まで働かないと稼げません。(一、〇〇〇円の利用料でドライバ



に65%支給)値上げするには、運営協議会での協議が必要になり、簡単にはいきません。利用者が多くなれば、必然的に車の台数も増えるので、その分経費が多くなります。区の助成金は、五百萬円で打ち切りとかで、いくらトリップを上げても、経費がかかっても会で処理しろとの事のようにです。

二〇〇四年に日本財団から頂いた福祉車両ニッサンバネットも十五万キロを越え、あちこち傷だらけなので二月に廃車にしました。運営協力金として二十万を寄贈して頂いたので、頭金にして代替車とし中古の福祉車両を一月に購入しました。

一年以上かかった事務所の耐震工事もどうやら終り、今の事務所業務を始めています。が、仮設のプレハブのときは広くて、ドライバーが移送の間に休憩するコーナーもあつたのですが、今の事務所はクリーニング店と共用なので、休憩する場所がありません。いずれば、ヒューマンハーバー自分で事務所を借りないとならない時が来ると考えられますが、一番の問題点は駐車場の件です。すぐそばに最小でも二台、三台を常備置ける場所が必要。周辺の駐車場代は三万円ですが、マンション住人は一万九千円で借りられますので、。

今年度は福祉有償事業の更新の年でもあります。二月六日に福祉有償移送協議会の審査も無事終えました。

また三年間、無事故、無違反で優しい移送を続けていきたいと思えます。

高齢者の自動車運転

顧問 松宮 丞二

最近高齢者の交通事故がよく取り上げられるようになりました。高齢者は早めに運転免許を返納したほうが良いともいわれます。果たして高齢者の交通事故は多いのでしょうか？ 下のグラフを見て下さい。

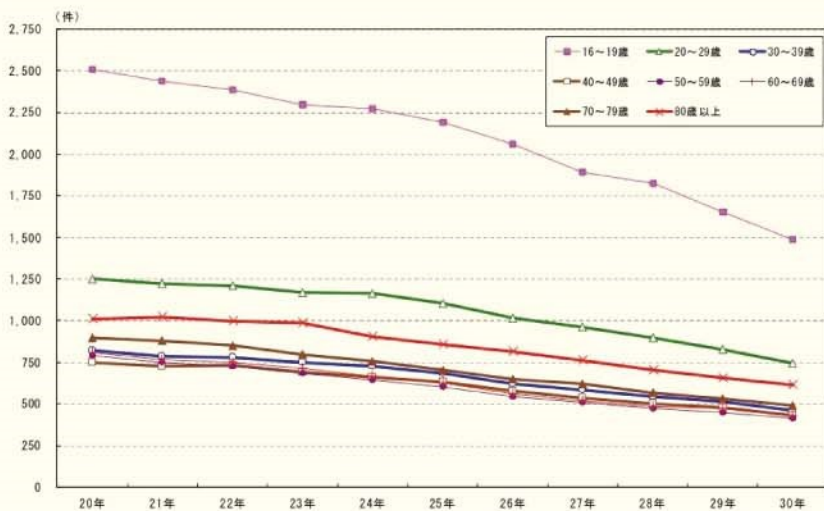
これは警察庁が公表した交通事故の統計で一番過失が重い運転者の数を、免許保有者10万人当たりで年齢層別に表したものです。交通事故は全体として年々減少していますが、一番多いのは16-19歳で、次が20-29歳になつており、80歳以上は年齢層別では3番目です。あとの年齢層はほとんど差がありません。高齢運転者の交通事故は減っています。

自動車を事故なく安全に運転するためには、適切な認知、判断、操作とその連携が必要で、集中力をどれだけ持続できるかが大事だと思います。国立長寿医療研究センターの調査では、運転を中止した高齢者は、運転を継続していた高齢者と比較して、要介護状態になる危険性が約八倍に上昇することが明らかになっています。さらに、運転をしている高齢者は、運転をしていない高齢者と比べて、認知症のリスクが約四割減少することも分かりました。高齢運転者個々の重大事故をもって、高齢運転者全体の運転を問題視し、運転をやめるべきだという議論は的を射ていないように思えます。

次に日本の交通事故の特徴は、歩行中や自転車運転中の事故が欧米と比べて3倍程度

多いことです。警察庁の調べによる交通事故死者数を見ると、死者は年齢が高くなるほど増えており、特に80歳以上では歩行中、自転車運転中の交通事故死者は死者全体の7割にもなっています。運転免許を返納して自動車に乗ったり、歩行者になったりすると反って交通事故の危険に晒されることになりかねません。

高齢者に運転免許証返納を促すのではなく、いかに安全に運転を続けられるかを社会全体でサポートすることが求められます。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

宮澤みどり

中村医師 天に昇りて冬銀河
ティファニーの青の袋やクリスマス
令和元年大安吉日大晦日

手袋の小指の先の余りかな
へり六機冬の青空揃ひ踏み

大谷のり子

都営バス 銀杏落葉を蹴散らして
武蔵野の空の青さや寒鳥
人日や駅前地下の駐輪場
枝庭に声の弾けて寒日和
蠟梅の束を抱へて人来る

小田原郁代

写メールの真つ赤なもみぢ二尊院
食卓のワイングラスに冬の薔薇
外は雨鴨鍋囲み酒を酌み
曾孫子誕生メール行きまふ松の内
青天や向う鉢巻梯子乗

亀井歌子

酒蔵の水の甘さや石落の花
高速道見下ろす村の冬田かな
年用意大鍋二つ筑前煮
大旦東の窓を開け放つ
お元日二人の嫁の賑やかさ

作田志津子

乾門閉ちて寂しき冬桜
老犬の胸の鼓動や冬籠
着ぶくれてバスの座席の狭さかな
年の瀬や夜回りの声犬の声
冬銀河隣は帰る故郷へ

平井あい子

屋敷町の子ども夜廻り祖父母付
絨毯に介護ベッドのあと深き
野の小鳥初日のひかり撒きさらす
御西さんに夫の供養や寒椿
白髪葱皿一杯に盛られたる

行事報告

◎小田原、早川のみかん狩り

十二月五日(木)

毎年恒例となつてい
るみかん狩
りは、そもそ
も私が個人
で十年前に
みかんの木
のオーナー
募集を見て、
オーナーにな
つたのが
始まりです。
本来は自分
の木で採る
のですが、会
ではいつも入口のすぐそばで、採りやすい場所
にしてもらっています。



一本の木から五十キロく六十キロのみかんが
なるので、全部採るのに一時間はかかりま
す。楽しいので、未経験の方はぜひ参加してくだ
さい。
参加者 三十四名

◎区民ふれあいフェスタ

十二月八日(土)

会としては、区民ホールの作品展示とパザ
ー店を出展して参加しています。
パザーは今年から展示方法を変えたので、

持参した品物の
七割が販売でき
て感謝していま
す。事務所がせ
まく、保管場所
がないので：
ボランティア
の皆様はいつも
ご協力ありがと
うございます。

◎忘年旅行

御殿場時之栖

十二月十五日(日)



夜のイルミネーションが素晴らしいとの評判で
有名な御殿場の時之栖に行く事になりました。
入浴、休憩、食事付で一人五千円との事
でした。通常は参加者八千円で、食事代に二千
円から三千円
をみているの
ですが：。参
加者が三十名
を越えると、
バス代、保険
代等もろもろ
を引いても多
少黒字になる
のですが、十
二月はみかん
狩りにも多く
の方が参加し
ているので、
今回の参加者



が少なく苦慮しました。それでも、食事の後
はカラオケタイムもあり、皆さんそれぞれ
楽しんでいました。

通常は三時か四時には出発するのですが、
イルミネーションを見るので五時出発にしま
した。光のトンネルを通過してバスに乗り帰路
に着きましたが、大渋滞に合い、野沢到着は
九時半過ぎでした。

新春新年会

一月十八日(土)

参加者 二十四名

令和二年の正月は静かな幕開けで、一日は
二件の送迎で、二日から透析等本格的な送迎
が始まりました。

恒例の新年会は事務所の前の中華レストラン
華空間で開催されました。区議員の皆様も参
加頂き、十二時から新年会が開かれました。
ゲストに歌手の鈴木やすしさんに来て頂き、
みなさんを愉しませて頂きました。

美味しい料理
とお酒で会話も
はずみ、あつと
いう間のひとと
きでした。

移送のみお手
伝い頂いた方々
や参加してもお
酒が飲めないド
ライバーもいて、
ご苦勞様でした。
今年も宜しく
お願いします。
出席者 四十七名



行事予定

◎日帰りバスハイク

- ・日時 三月十五日(日) 九時出発
- ・行先 水戸偕楽園
- ・参加費 8千円(個人移送料千円)
- ・行程 野沢く三郷く常磐道く
守谷SA(休)く水戸ICく
ひたちの里(昼食)く偕楽園散策
く那珂湊漁港(買物)く常磐道く
野沢

※参加希望者は二月末
までにご連絡ください。

※この予定は一月お知らせ
らせて掲載済みです。



お願い!

◎令和元年度のひまわり旅行は三月の偕楽園バスハイクですべて終了します。令和二年度は四月から行事予定に沿って『ひまわり通信』や『お知らせ』でご案内して参ります。新年度も皆様方のご参加をお待ちしております。

新年度は創立二十五周年記念行事もあり、今から準備を進めております。お手伝いくださる方は事務所までご連絡下さい。

◎新年度事業計画(前期予定)

○四月日帰りバスハイク(区のバス使用予定)

- ・日時 四月十九日(日) 九時出発
- ・行先 群馬フラワーパーク(チューリップ)
- ・参加費 九千円(個別移送料千円)

○五月日帰りバスハイク

- ・日時 五月十七日(日) 九時出発
- ・行先 茨城フラワーパーク(ぼらの花)
- ・参加費 九千円(個人移送料千円)

○六月創立二十五周年記念式典・懇親会

- ・日時 六月二十一日(日) 十一時
- ・会場 三軒茶屋スカイキャロット26F
- ・会費 五千円

○七月日帰りバスハイク

- ・日時 七月十九日(日)
- ・行先 未定
- ・参加費 九千円

○八月暑気払い食事会

- ・日時 八月十六日(日) 十二時
- ・会場 碑文谷木曾路
- ・会費 六千円

○九月東京湾サンセットクルーズ 納涼食事も

- ・日時 九月十三日(日) 十五時
- ・会場 日之出栈橋出航く東京湾一周
- ・会費 一萬円

※日時、行先、参加費等変更になる場合も
有ります。ひまわり通信やお知らせ等で
最新情報をご案内いたしますので宜しく
お願いします。

編集後記

総額八億円をかけた耐震工事が、三ヶ月遅れて二月にやっと終わります。事務所のあるマンションは十三階建てなので、直下型の地震が来た時、環七側に倒れた場合、完全に道路が塞がれて緊急車両の通行が出来なくなるといふ事で、世田谷区で半額を出すとの事、理事会で協議して、賛成多数で工事することになりました。残りの四億は積立金と長期ローンで管理費から支払う予定です。

二階から八階までのベランダにV字型の制震ブレースを取り付けたり、一階の店舗の柱四本をふたまり程太くしたりしました。二月上旬に都内で震度三の地震がありました。だが、前ほど揺れは感じなくなつたとか。お金をかけただけの事はあつたみたいです。向う三十年以内に震度六以上の地震の確率八十%とかいわれています。多分その頃には私は居ないと思いますので…。

S記

「ひまわり通信」95号

2020年2月25日発行

編集 特定非営利活動法人

ヒューマンハーバー世田谷

編集責任者 隅 一清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

TEL 03-3487-5081

FAX 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砧6-26-21 (定価100円)